

第19回ミニ相談会のお知らせ

第19回ミニ相談会を実施します。当センターでは、放射線・放射能の基礎的な内容や測定に関するだけでなく、除染に関するご質問もお受けすることがあり、みなさまの除染に対する関心の高さを感じております。そこで、今回は*「除染情報プラザ」より講師を招き、身近な場所の除染について、講師の先生よりお話しいただきます。

当日は、会場内でパネル展示なども行う予定となっておりますので、ぜひお誘いあわせの上、ご参加下さい。

～第19回ミニ相談会テーマ～

「身近な場所の除染について知ろう！」

～除染の方法とその効果について～

講師：除染情報プラザ派遣専門家 須田 博文氏(株式会社イング)

- | | | |
|----------|---------------------------|-------------------------|
| 【日時】 | 平成25年12月21日(土) | 10:00～12:00 |
| 【場所】 | いわき明星大学 教員談話室(本館1階) | |
| | 〒970-8551 いわき市中央台飯野 5-5-1 | |
| 【問い合わせ先】 | いわき地域復興センター | TEL 38-7132 FAX 38-7134 |
| 【内容】 | 1. 講師の先生のお話 | 10:00～11:00 |
| | 2. 質疑・応答 | 11:00～11:30 |
| | (皆様からの質問にお答えします) | |
| | 3. 展示パネルの説明 | 11:30～12:00 |
| 【対象者】 | いわき市内在住の方 | |
| 【定員】 | 20名 | |

参加費は
無料です

～お申し込み方法～

いわき地域復興センター窓口か、お電話(38-7132)でお申し込み下さい。

※「除染情報プラザ」・・・福島県と環境省が運営する機関で、除染に関する情報の提供や、専門家の派遣・講座や出張セミナーなどを行っています。

※除染情報プラザ URL→<http://josen-plaza.env.go.jp/>

第19回ミニ相談会 開催報告

- 【日 時】 平成 25 年 12 月 21 日（土） 10：00～12：10
【場 所】 いわき明星大学 本館 1F 教員談話室
【講 師】 除染情報プラザ派遣講師 株式会社イング 須田 博文氏
【参加人数】 12 名（男性 8 名 女性 4 名）

当センターでは、放射線・放射能の基礎的な内容や測定に関するだけでなく、除染に関するご質問もお受けすることがあり、皆様の除染に対する関心の高さを感じておりました。そこで、今回は「除染情報プラザ」より講師を招き、ミニ相談会を実施いたしました。あわせて会場でパネル展示も行いました。

<第19回ミニ相談会テーマ>

「身近な場所の除染について知ろう！ ～除染の方法とその効果について～」

1. 講師の先生のお話

- 【1】放射線・放射能とは？
- ①放射能と放射線
 - ②放射性物質は、放射線を出して安定な物質になる
 - ③放射能の減り方
 - ④放射線の種類
 - ⑤放射線の被ばく
- 【2】いわき市の除染活動状況
- ①いわき市除染実施計画
 - ②福島県内各市の住宅除染の状況
- 【3】住宅除染実施要領
- ①清掃のできる放射線量を減らす工夫
 - ②住宅除染モニタリング結果
 - ③いわき市放射線量低減のための除染マニュアル
 - ④放射線測定器
- 【4】仮置き場等



<講師：須田 博文氏>

2. 質疑・応答

交流タイムでは、講師の先生を中心に参加されたみなさんが普段感じていることや、生活の中で気になっていることなどを、自由に話し合いました。その中で出た意見・質問をご紹介します。

Q. 露地栽培の野菜や果樹は、毎年放射能検査を受けた方が安全でしょうか？

A. 露地栽培の野菜で、同じ野菜に出荷制限がかかっていなければ、家で作られても問題ないのではないかと思います。

以前、福島のある地域でお米の出荷ができないということがありましたけれど、今同じ田んぼで作った米は出荷することができるようになっています。それは特別な除染をしたわけではなく、土に放射性セシウムがくっついてしまって米にほとんど移行しないということと、セシウムと競合させるためにカリウムをたくさん撒いたということが考えられます。カリウムとセシウムは同じような動きをするので、カリウムをたくさん(米が)吸うとセシウムは吸わない、という形で放射性セシウムの吸収が抑制されます。

Q. 自宅で栽培したシイタケは食べられますか？

A. これは難しい質問です。シイタケというのはほだ木という木に穴をあけて、菌を植え付けて、その穴を埋めるという栽培法だと思います。

キノコは土に根をのばすのではなく、木の表面に菌糸を伸ばして栄養分を吸って成長します。ですから、シイタケを作るほだ木自体が汚れていると汚染されたシイタケが出てきます。ですからほだ木が汚染されているのであれば食べるのはやめた方が良く、ただ、新しい汚染されていないほだ木を使えば、自宅で栽培したシイタケでも食べられるということです。

Q. 郷ヶ丘に住んでいます。平の街中より線量が高いのですが、それはどう考えたらよいのでしょうか？

A. まずは1つは地形、それから放射性セシウムを含んだ雲が上空を通過した時の天候(雨や雪が降ったか、降らなかったか)なども理由として考えられると思います。同じ地域でも線量が違うということはあることだと思います。

Q. 公園の土の放射性セシウムは何年くらい残るのですか？

A. 何もせずに放置している状態で、現在で4~4.5割くらいは線量が減っています。また、自然の影響(雨が降って流されたり、風で舞いあがったり)で、計算上よりもさらに減っているのではないかと思います。ただ、残っている分については、セシウム134については半減期が約2年ですので、あと2~3年たてばあまり影響力がなくなるでしょう。ただ、セシウム137は半減期が約30年ですので、除染をすることで減衰率を高めてあげるのはいいことだと

思います。

Q. 野菜の測定をずっとしてもらっていて、10Bq/kg で不検出だったのですが、100Bq/kg を切ればどんな野菜でも問題ないのですか？食べるかどうかの判断は自分でするしかないんですよね？

A. 100Bq/kg を切れば良い、悪いではなくて、どこかで線を引かないとまず生産者が困ってしまうんです。売れませんか。ただ、100Bq/kg を超えたらすべてダメで、99Bq/kg ならいいのかという話にもなりますよね。それは、生産者側と消費者側ではずいぶん話が違ってきてしまうところです。

福島で仕事をして、柿をいただいたことがありました。1度測定したら30Bq/kg ありましたが、もちろんいただきました（食べました）。

1kg30Bq あった柿を食べたことによって、私がどれだけの内部被ばくをしたのかを計算しました。柿には、栽培の過程で撒く肥料からの放射性カリウムも含まれていますので、それも合わせて30Bq/kg の柿を1個食べると0.17μSv くらいの内部被ばくをします。私はお酒が好きなので、ポテトチップを買って食べるのがよくあります。あれはだいたい1袋50~60g くらいしか入っていませんね。ポテトチップには放射性セシウムは含まれていませんが、放射性カリウムは含まれています。その放射性カリウムによる内部被ばくを計算すると、30Bq/kg の柿を1個食べた時とほぼ同じなんですよね。

そのようなことも考えながら、100Bq/kg 切っているけど、10Bq/kg、20Bq/kg あるからダメなんじゃないかと考えるか、いや大丈夫だと考えるかは各自の判断になってしまうんです。

判断基準は色々あると思いますが、内部被ばくというのは何を食べてもあります。放射性セシウムがちょっと入っているからと言って、特別にそれによって他の病気が発生するとか、ガンになる確率が桁違いに増えるとか、そういうことがないとは言いきれません。

Q. 友達に測定結果を見せて野菜をあげたりしていますが、やはり後になって「あげて良かったのかな」「大丈夫だったのかな」と思うことがあります。

A. 日本は今100Bq/kg が基準となっていますが、輸入品は370Bq/kg です。輸入品は日本の基準より高くてOKなんです。もともと。それに比べると、日本は国際基準よりもうんと下に設定しているんですね。私たちは海外などに行って100Bq/kg より高い数値のものを食べている可能性もあるんです。ですから、100Bq/kg を切っていて、少し数値が出ているからと言って敏感に心配する必要はないと思います。

Q. 戦後に原子爆弾が投下された後、その地域に住んでいる人はその地域の水を飲んでいけないとか、食べ物を食べていけないとかいうことは、分からなかったと思うんですが、みんなが白血病やガンになったわけじゃないんですよね？そのへんはどうか聞いてみたいです。

A. 専門家ではないので、正確なお答えはできないかもしれませんが、まず放射線による影響と

して、放射線を浴びた本人への影響と、子ども・孫・ひ孫への遺伝的影響がありますが、戦後60数年たちますが、子ども・孫・ひ孫への遺伝的影響が出たという報告は一切ありません。ただ、当時直接高線量の放射線を浴びた方には、亡くなられた方がたくさんいらっしゃいます。

日本は、その後ご存命だった方をずっと調査しているんです。調査した結果、100mSvを1度にボンと被ばくすると約5%ガン死が増え、100mSvをじわじわと時間をかけて被ばくした場合、将来どのくらいガン死が増えるかという約0.5%だそうです。

現在、1000人いたら300人、約3割の方がガンで亡くなるような時代です。それは放射性物質の影響だけではなくて、色々な要因からそうなるんですね。例えば酒を飲む人、タバコを吸う人、辛い物が好きな人、野菜を食べない人、運動をしない人など、色々な要因があって発ガン率というのはプラスになっていくわけなんです。そのような要因に加えて、100mSvを徐々に浴びたことによって増えるのは約5人ということになります。

あくまでも計算上の話ですが、(ガンで亡くなる人の数が)1000人中300人から305人に増えるということです。もちろんその5人に自分が入ったら嫌ですね。ただ、それはずっと被ばくし続けて、100mSvに達した場合の話なんです。日本は年間の追加被ばく量を1mSvにおさえようとしていますので、100mSvに到達するには100年かかります。そんなことはあり得ないので、実際は(放射線の影響でガン死する人の増加は)5人ではなくもっと少なくなると思います。ですから、あまり心配なさらず、福島産の物も食べて生活されてよいと思います。



<第19回ミニ相談会のようす>

3. パネル展示の様子





～参加されたみなさま、お疲れ様でした～

第 20 回ミニ相談会は 1 月 23 日（木）10：30～

いわき明星大学で実施します！！

興味を持たれた方は、窓口かお電話でお問い合わせください。